

# PCI- USERS MANUAL

VoIP GATEWAY

**VG-3000**

プラネックスコミュニケーションズ株式会社



**DCi-**  
**USERS MANUAL**  
VoIP GATEWAY

**VG-3000**

# このマニュアルの構成

本マニュアルはVoIP Gateway VG-3000の概要および使用方法について説明します。本マニュアルの構成は以下のようになっています。

## ◆ 必ずお読みください ◆

### 第1章 はじめに

本製品の概要と各部の名称について説明します。必ずお読みください。

### 第2章 インストール

本製品のインストール手順について説明します。必ずお読みください。

## ◆ ご使用方法 ◆

### 第3章 コンソールベース設定ユーティリティ

コンソールベースの設定ユーティリティを使用して本製品に設定を行う方法について説明します。本製品を購入後、初めて使用する場合は、必ずお読みのうえ本製品のIPアドレスの設定を行ってください。

### 第4章 Webベース設定ユーティリティ

Webベース設定ユーティリティ「Smart Voice Manager」を使用した本製品の設定方法について説明します。

## 付録

### 付録A 製品仕様

本製品の製品仕様です。

#### 《マニュアル内の表記について》

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。

区別が必要な場合は製品型番で表記します。

# 目次

## 第1章 はじめに

1.概要	1
2.特徴	2
3.各部の名称	4
4.梱包内容の確認	6
5.技術的特徴	6
6.VoIP技術について	7
7.必要環境	8
8.製品使用例	9
9.発呼方法	11

## 第2章 インストール

1.必要環境	13
2.システムインストール	14
3.ターミナルプログラムの設定	19

## 第3章 コンソールベース設定ユーティリティ

1.概要	21
2.電源を入れる	22
3.ログイン方法	23
4.メインメニュー( Main Menu )	24
5.システム設定( Basic System Configuration )	25
6.日付/時刻の設定( Date/Time )	27
7.ファームウェアのアップデート( TFTP Download )	29
8.パスワードの変更( Change Password )	31
9.pingユーティリティ( Ping Utility )	33
10.統計情報の表示( Line Statistics )	35
11.再起動( Restart )	36
12.シャットダウン( Shutdown )	37
13.ログアウト( Logout )	38

## 第4章 Webベース設定ユーティリティ

1. Webベース設定ユーティリティにログインする	39
2. メインメニュー	42
3. システム設定	44
4. 日付/時刻の設定	48
5. 電話帳	50
6. ファームウェアダウンロード	57
7. パスワード変更	59
8. 統計情報	62
9. クラス設定	64
10. システムログ	66
11. 再起動	67
12. ログアウト	68
<b>付録A 製品仕様</b>	<b>69</b>

※ 記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

---

## はじめに

## 1. 概要

本製品は、従来の高額な長距離通話に代わる新しい電話方式 (VoIP:Voice over IP) を提供します。VoIPを利用した本製品は、ビジネスで発生する長距離通話コストを大幅に削減するための、最も手軽かつ効果的で信頼性のあるソリューションとなっています。本製品は、インターネット上で真にコストのかからない長距離通話を行うためのゲートウェイといえます。

海外支社や世界各国の取引先との長距離/国際電話など、使用頻度が高くまた優れた経済性が要求される音声アプリケーションに対して、VoIPは特にその威力を発揮します。

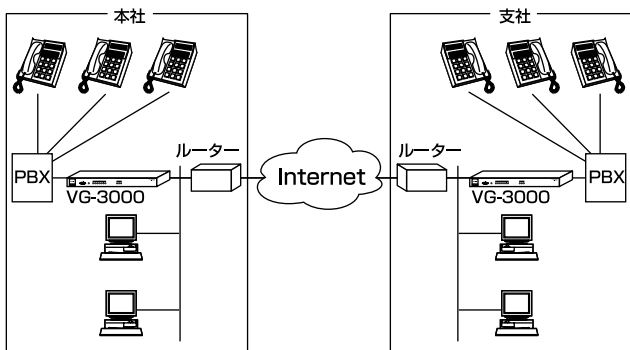


図1-1 VoIP

**▲ 注意**

本製品はFAXの送受信には対応していません。

## 2. 特長

### ■手軽に完全なVoIPソリューションを提供

ご使用のLANとPBXとの間に本製品を接続するだけで、標準の電話機やIP設定のされているコンピュータ(オプション)を所有するなどのリモートユーザからでも、手軽にIP経由で長距離通話を行うことができます。長距離通話は本体内部の専用ハードウェアおよびファームウェアを使用して実行するため、他に機器を必要としません。本製品のみで、そのままVoIPをご利用いただけます。

### ■ユーザに違いを意識させない安心設計

ネットワーク管理者が本製品のインストールおよび設定を済ませたあとは、一般のどの電話機からでもそれまでとまったく同様の手順で長距離電話をかけられるようになります。従来の方で長距離電話がかけられるため、ユーザはインターネット上で通話していることを意識せずに普通に通話を行うことができます。

### ■簡単なインストール

本製品はスタンドアロンでご使用いただけるほか、標準19インチラックにインストールすることが可能です。本製品はPBXと、10BASE-T/100BASE-TXイーサネットLANとを結ぶゲートウェイとして機能します。接続も、本製品上の電話回線ポート1~3つにPBXの外線端子をつなぎ、イーサネットポートにご使用のネットワーク内のハブ/スイッチまたはルータをつなげるだけという簡単なものとなっています。インストール手順については第2章「インストレーション」を参照してください。



### ■簡単に設定可能

本製品はWebベース設定ユーティリティ「Smart Voice Manager」を装備しています。一般的なWebブラウザを使用して、ネットワーク上のどこからでも簡単に設定を行うことが可能です。Webベース設定ユーティリティの各設定項目については、第4章「Webベース設定ユーティリティ」を参照し、ご使用環境/ニーズに合った設定を行ってください。

### ▲ 注意

本製品をはじめて使用する場合は、同梱されているRS-232ケーブルで本製品をコンピュータと接続し、コンソールベース設定ユーティリティから本製品にIPアドレスを設定する必要があります。詳細は第3章「コンソールベース設定ユーティリティ」を参照してください。

### ■H.323準拠ソフトウェアと相互運用可能

本製品は、業界で広く使用されているVoIP標準「ITU-T H.323」を採用しております。このためMicrosoft NetMeetingやNetSpeak WebPhoneといった、H.323に準拠したほとんどのインターネット通信用デスクトップアプリケーションソフトウェアとも、そのまま通信が可能です。

### 3. 各部の名称

ここでは本製品の各部の名称について説明します。

#### ■ 前面パネル

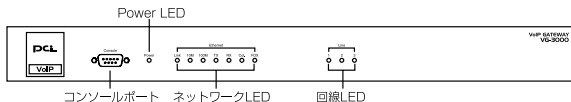


図1-2 前面パネル

#### < コンソールポート >

テキストベース設定プログラムでの設定用のコンピュータを接続するためのシリアルポートです。

#### < Power LED >

本製品の電源を入れると点灯します。

#### < LINK LED >

ネットワークポートのリンクが確立すると点灯します。

#### < 10M LED >

ネットワークポートのリンクが10Mbps( 10BASE-T )で確立すると点灯します。

#### < 100M LED >

ネットワークポートのリンクが100Mbps( 100BASE-TX )で確立すると点灯します。

#### < TX LED >

ネットワークポートがデータを送信中は点灯します。

#### < RX LED >

ネットワークポートがデータを受信中は点灯します。

#### < COL LED >

ネットワークでコリジョンが発生すると点灯します。

#### < FDX LED >

ネットワークポートのリンクが全二重( Full-Duplex )で確立すると点灯します。

#### < Line LED >

Line 1、2、3の各回線が使用中( オフフック )の時に点灯します。

## ■背面パネル

当セクションでは、本製品背面パネル上の各コネクタ/スイッチの名称および、その機能を説明します。

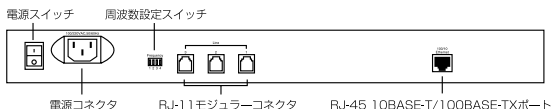


図1-3 背面パネル

### <電源スイッチ>

本製品の電源スイッチです。

### <電源コネクタ>

電源ケーブルを接続します。

### <周波数設定スイッチ>

本製品の呼出信号の周波数を切り替えるためのスイッチです。日本国内で使用する場合は17Hzに設定してください。周波数は工場出荷時に既に設定されておりまして設定を変更する必要はありません。

周波数	スイッチ	周波数	スイッチ
17Hz		25Hz	
20Hz		50Hz	

## ⚠ 注意

ディップスイッチで周波数を変更した後は、必ず本製品を再起動してください。

### <RJ-11 モジュラーコネクタ>

アナログ電話機器またはPBXを接続するコネクタです。モジュラーケーブルを通じてPBX や一般の電話機を接続することができます。

### <RJ-45 10BASE-T/100BASE-TXポート>

ネットワークとの接続用のRJ-45ポートです。本製品はAutonegotiation機能により通信速度(10BASE-T/100BASE-TX)および通信モード(全二重/半二重)を自動認識します。

## 4. 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

VG-3000 VoIP Gateway 本体

電源ケーブル

設定用コンソールケーブル( RS-232 ヌルモデムケーブル)

ラックマウント用金具

ネジ

このユーザズマニュアル

不足品がある場合は販売店または、弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

## 5. 技術的特長

ここでは、本製品の技術的な特長について説明します。

### ■使用帯域幅を極限まで縮小

本製品ではITU G.723.1コーデック(圧縮/解凍)音声デジタル化技術を採用しているため、圧縮した音声信号を5.3/6.3Kbpsという低帯域幅にてインターネット経由で送信することが可能です。実際に音声データを送信する際には、音声データにIPヘッダやEthernetアドレスなどがパケットに付加されます。このため1通話あたりに実際に必要な帯域幅は約20kbpsとなります。本製品では次の無音制御機能との併用により信頼性を保ちつつ、最大3つの全二重(フルデュプレックス)通信を同時に行うことができます。

### ■無音制御機能

音声信号に含まれる無音時間は、平均すると信号データ全体の約半分から2/3を占めます。無音制御機能はこれらの無音データを取り除き、音声信号のパケットトラフィック使用率を1/2から1/3にまで抑えてより多くの帯域幅を提供します。無音部分の検出にはVAD (Voice Activity Detection)機能を使用します。VAD機能を使用することにより、会話中の有音/無音時の差がより滑らかになります。

**■音声状■G.723.1を使った高品質音声通信**

本製品ではG.723.1 音声圧縮技術を採用しており、高品質な音声通信を実現しています。一般の長距離通話時のクオリティに迫る音声品質を提供します。

**■エコー消去技術を採用**

本製品はエコー消去技術を使用し、長距離通信時においても高品質な通話を実現しています。

**■短縮ダイヤル機能**

本製品は短縮ダイヤル機能を搭載しています。短縮番号を設定すると、4桁の短縮番号を入力するだけで世界中どこにいる相手に対してもすばやく電話をかけることが可能です。

**■ファームウェアを簡単にアップグレード**

本製品のファームウェアは本体内のフラッシュメモリに記憶されており、TFTPサーバを使用して簡単にアップデートすることが可能です。

## 6. VoIP技術について

本製品は高度なデータ送信方式を採用しており、インターネット経由で高性能かつ信頼性の高い音声通信を行うことが可能となっています。銅線を使った一般の公衆回線では、アナログ音声信号を送信する際 64Kbps の帯域幅を使用します。これに対し、本製品は国際標準であるITU-T G.723.1コーデック(圧縮/解凍)技術を使って音声信号をデジタル化し、TCP/IPネットワークで送信するため使用帯域を最大で5.3/6.3Kbpsにまで抑えることが可能です。LAN/WAN上での音声通信には国際標準となっているITU-T H.323信号方式を取り入れているため、市場の他社製H.323準拠製品との相互運用が可能です。また、Microsoft NetMeetingやNetSpeak WebPhoneといったH.323準拠のIPベースのコンピュータ用音声通信アプリケーションにも対応しています。

**▲ 注意**

本製品はFAXの送受信には対応していません。

## 7. 必要環境

本製品を設置するには、以下のサービスおよびネットワーク環境が必要となります。

### ■プロバイダとの専用線契約

インターネット経由でアクセスする場合、専用線（64Kbps以上推奨）での接続が必要となります。年間を通して常時通信が行えるようにするためには、専用線サービスは必須となっています。大多数の企業ではイントラネットを設置しており、専用線を通じて社内のイントラネットをインターネットと接続しています。まだ専用線を設置されていない場合は、プロバイダとご相談の上、専用線の設置を行ってください。

### ■10BASE-T/100BASE-TXイーサネットネットワーク

本製品は、ご使用の電話機器とインターネットとの間を10Mbps/100Mbpsイーサネットネットワークで接続します。

### ■PBX（構内交換機）またはアナログ電話機器

本製品はRJ-11アナログポートを3つ搭載しており、これらのポートをお手持ちの電話システム（PBX）を接続することにより3チャンネル同時に通信が可能となっています。対応するPBXのインターフェースはCOT（Central Office Trunk）です。PBXと接続するため、既存の電話機器をそのまま使ってインターネット経由で通話が行えます。PBXを使用しない場合はアナログ電話機器を直接本製品のRJ-11ポートに接続します。この場合の対応インターフェースはFXSです。一般的なほとんどのアナログ電話機器が接続可能です。

### ■VT100端末またはコンピュータ

本製品のコンソールベース設定ユーティリティにアクセスする際、簡易VT100端末またはVT100ターミナルエミュレーションが実行可能なコンピュータが一台必要となります。

## 8. 製品使用例

本製品は標準の電話機とネットワークとを結ぶゲートウェイとして機能します。インターネットを通じて2台の電話間および電話—コンピュータ間で通話を行うことが可能です。既存ネットワーク内に設置した後は、従来の公衆交換電話網(PSTN)と変わらぬ高信頼性および便利さを備えた通話サービスを提供します。PSTNの便利さをそのまま受け継ぎながら、PSTNと違い長距離通話料金は一切発生しません。

### ■電話器同士での通信

企業の本社—各支社間で通話を行う場合の基本構成であり、両サイドに本製品を設置します。また、電話間通信を行う各支社オフィスはそれぞれ最寄りのプロバイダから専用線サービスを導入する必要があります。通話する場合、ユーザはデスクを離れることなく、電話機から相手先の電話番号を入れるだけでそのまま全二重方式(両サイドで同時に会話)の通話が利用できます。通信コストは事実上何も発生しないため、離れたオフィス間であってもより頻繁に、また長時間にわたって通話を行うことが可能です。長距離通話でこれまでネックとなってきた膨大な通話料金をゼロにすることにより、本製品は企業の各支社間でのコミュニケーションを促進させ、企業全体の生産性向上にも貢献します。

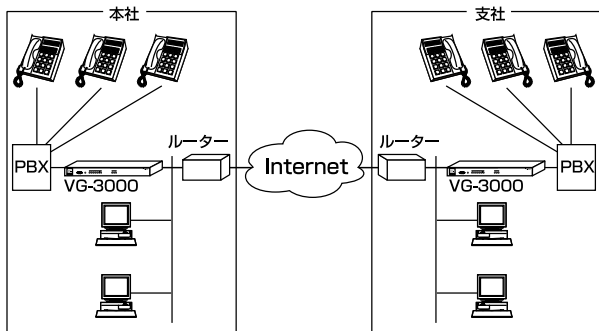


図1-4 本社—各支社間での通話

## ■電話機器 — コンピュータ間での通信

海外出張中の社員や在宅勤務者といった専用線接続が利用できないユーザは、インターネットヘダイアルアップ(モデム)接続可能し、H.323対応アプリケーションを使用して本製品に対し電話をかけることができます。モデムカードおよびNetMeetingなどのH.323準拠のVoIPアプリケーションがインストールされているノートパソコンを携帯している場合は、最寄りのアクセスポイント/プロバイダにダイアルアップ接続するだけで本社に対して無料で長距離電話をかけることが可能です。(ただしアクセスポイントまでの市内通話料およびプロバイダへの接続料金は発生します。)

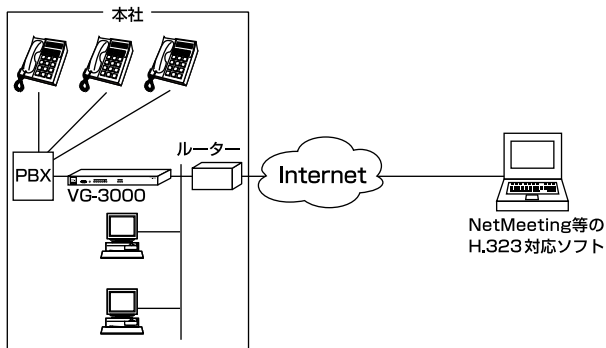


図1-5 出張先からの本社への通話

### ▲ 注意

ダイアルアップ接続の場合、プロバイダから割り当てられるIPアドレスは一時的にだけ使用可能となっています(固定IPアドレスではありません)。このためダイアルアップユーザから本社に対し電話をかけることはできても、本社からダイアルアップユーザへ電話をかけることはできません。



## 9. 発呼方法

本製品を経由して相手先の機器にダイヤルを行う場合は、通信をする相手の情報をあらかじめ本製品上の「電話帳」データベースに登録しておいてください。この情報には電話番号、IPアドレス、短縮番号等が含まれます。登録を行うと、その電話番号または短縮番号を使って相手にダイヤルできるようになります。直接IPアドレスを使ってダイヤルする場合は電話帳に登録する必要はありません。本製品では、通常の電話機を使用するのと同じ感覚で簡単にインターネット経由での通話が行えます。本製品にPBXを接続し、これに一般の電話機を接続して行う方法のほか、標準のアナログ電話機を本製品の電話回線ポートに直接接続して電話をかけることも可能です。本製品では以下の3通りの方法で発呼が行えます。

### ■電話番号をダイヤルする

相手先の電話番号を直接ダイヤルします。

### ■IPアドレスをダイヤルする

ご使用の電話機上で、リモートゲートウェイのIPアドレスを直接ダイヤルすることができます。IPアドレス内のドット(.)は、電話機のアスタリスク(\*)ボタンを押して入力してください。

例:192.168.1.1にダイヤルする場合  
192\*168\*1\*1

### ■短縮ダイヤルを使う

あらかじめ本製品の「電話帳」データベースに4桁の短縮番号を登録しておきます。発呼を行う際は電話機からこの短縮番号を直接入力してください。

例:短縮番号1101の相手先にダイヤルする場合  
1101

相手先機器で指定されている内線番号にダイヤルする場合は、電話番号の最後にアスタリスク(\*)と内線番号を続けて入力してください。この手順は電話番号ダイヤル、短縮ダイヤル、IPダイヤルのどの方法でも同じです。



# インストール

**本**章では、本製品のインストール手順およびご使用ネットワークへの接続方法について説明します。

## 1. 必要環境

### ■ ネットワーク環境

#### < インターネット専用線接続 >

本製品の性能を最大限に引き出し、また長距離電話時のコストを大幅に下げられるためにも、本製品を設置する各オフィスにインターネット接続用の専用線を導入することを推奨します。本製品は、64Kbpsの帯域幅内で3チャンネルの通話をサポートします。

#### ⚠ 注意

- ・ アクセスするたびにIPアドレスが異なるダイヤルアップでのインターネット接続と違い、専用線接続ではプロバイダから常に同じ(固定)IPアドレスが割り当てられます。専用線接続ではネットワーク上で固定のIPアドレスが使用できるため、インターネット経由での国際電話や長距離通信を相手先と双方向で行えます。
- ・ NATやIPマスカレードなどのIPアドレス変換を行うダイヤルアップルータと接続すると、本製品は正常に動作しません。IPアドレス変換ではプライベートIPアドレスを使用するため、本製品はデータフレームを相手先に送信することができません。このため、本製品では固定IPアドレス方式の使用を推奨します。

#### < 10BASE-T/100BASE-TXイーサネットネットワーク >

本製品はご使用中の既存ネットワークを通してインターネットにアクセスします。インターネットへ接続済みの10BASE-T/100BASE-TXイーサネットネットワークが必要です。

## ■ケーブル

### <カテゴリ5 UTPストレートケーブル>

本製品をネットワークに接続するために使用します。

### <モジュラーケーブル>

本製品をPBXに接続するために使用します。

## 2. システムインストール

以下の各ステップに従ってインストールを行ってください。

### ■19インチラックへの設置

#### ⚠ 注意

本製品をデスクトップ上などに設置する場合は必要ありません。

本体側面に付属のラックマウント金具を付属のネジで固定してください。次に、本体をそのまま19インチラックにしっかりと取り付けてください。

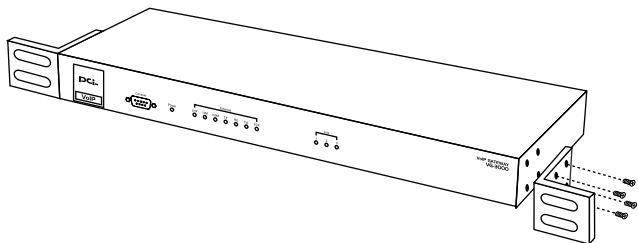


図2-1 ラックマウント金具の取り付け

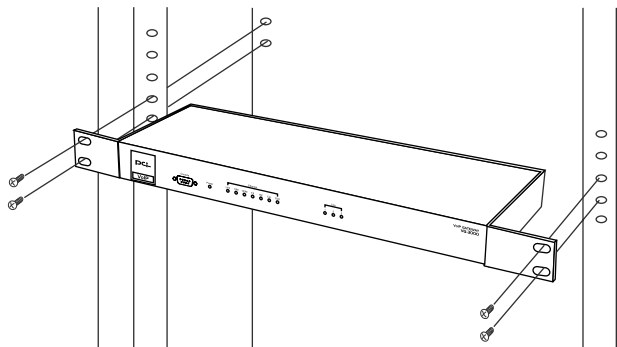


図2-2 ラックへの設置

### ■電源ケーブルの接続

付属の電源ケーブルの一端を本体背面の電源コネクタに接続し、もう一端をAC100Vコンセントに差し込んでください。

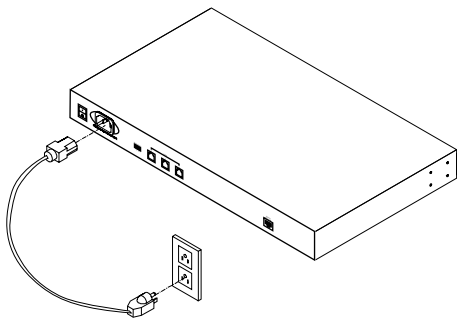


図2-3 電源ケーブルの接続

## ■イーサネットネットワークとの接続

カテゴリ5 UTPストレートケーブルをご使用の上、本体背面のRJ-45イーサネットポートと、接続先のネットワーク機器(スイッチ、ハブ、ルータなど)のいずれかのRJ-45コネクタを接続してください。

### ⚠ 注意

本製品をデスクトップ上などに設置する場合は必要ありません。接続先の機器で、「Uplink」または「Downlink」等の表示があるポートには本製品を接続しないでください。その他の通常のRJ-45ポートに接続してください。

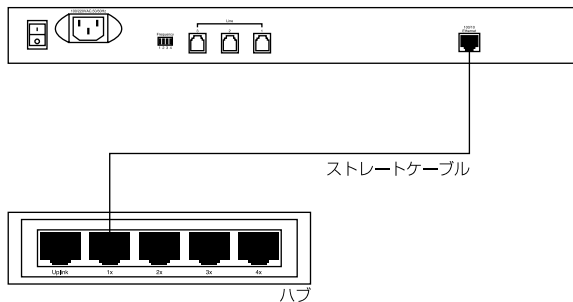


図2-4 ネットワークとの接続

## ■PBX（アナログ電話機器）の接続

RJ-11モジュラーケーブルを使用して、本体背面にある3つのRJ-11ポートをPBXの外線またはアナログ電話機器と接続してください。回線1～3の最大3本のRJ-11モジュラーケーブルを接続することが可能です。各回線はPBXの外線接続用のコネクタに接続してください。アナログ電話機器の場合は、ポートに直接接続してください。

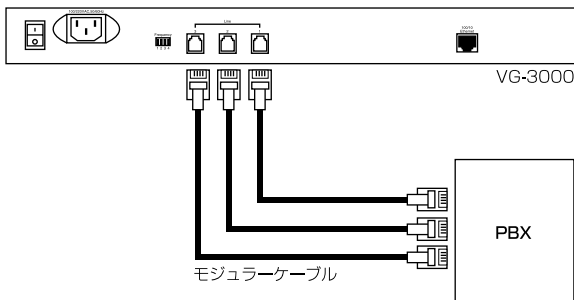


図2-5 PBXとの接続

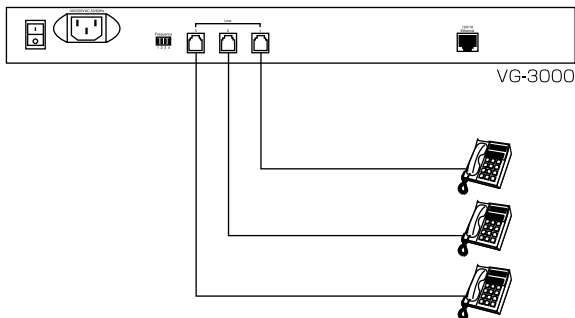


図2-6 アナログ電話機器の接続

## ⚠ 注意

接続は必ず回線1から順番に使用するようにしてください。また、使用しない回線がある場合は、Webベースまたはコンソールベース設定ユーティリティで回線を必ず「無効」に設定しておいてください。

## ■ コンソールポートにコンピュータを接続する

本製品の初期設定を行うには、本体前面パネルのConsoleポートにコンピュータを接続し、このコンピュータを通してコンソールベース設定ユーティリティを実行する必要があります。

設定にはVT100互換端末または、VT100ターミナルエミュレーションが実行可能なコンピュータが使用可能です。端末は以下のように設定してください。

ボーレート:9600bps

データビット:8

パリティ:なし

ストップビット:1

端末と接続する際は、本製品に同梱されている D-sub 9ピン メス RS-232ケーブル(ヌルモデムケーブル)を使用してください。RS-232ケーブルの一端を本体上のConsoleポートに接続し、もう一端を端末の9ピンシリアルポートに接続してください。



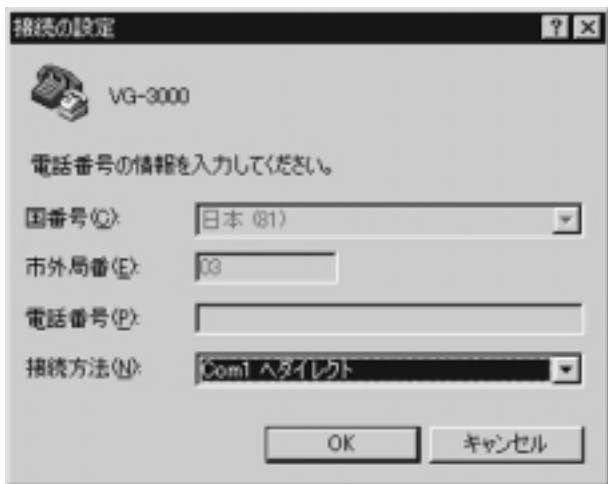
### 3. ターミナルプログラムの設定

ここでは、Windows95/98のハイパーターミナルを使用した場合の設定方法について説明します。他のOSやターミナルソフトウェアをご使用の場合は、各OSまたはソフトウェア付属のマニュアルを参照して設定を行ってください。

- 1.Windows95/98の[ スタート ]メニューから[ プログラム ] [ アクセサリ ] [ 通信 ] [ ハイパーターミナル ]と選択してください。
- 2.ウィンドウ内のHypertrm.exeアイコンをダブルクリックしてください。
- 3.[ 接続の設定 ]ウィンドウが表示されるので、[ 名前 ]に新しい接続名( 例:VG-3000 )を入力して[ OK ]ボタンをクリックしてください。



- 4[ 接続方法 ]で本製品を接続したCOMポート( COM1 ~ 4 )を選択して[ OK ]ボタンをクリックしてください。



- 5[ COMxのプロパティ ]ウィンドウが表示されるので、各パラメータを以下のように設定して[ OK ]ボタンをクリックしてください。

ビット/秒:9600  
データビット:8  
パリティ:なし  
ストップビット: 1  
フロー制御:なし

6. ハイパーターミナルのセッションが開始され、空白のウィンドウが表示されます。ハイパーターミナルの[ ファイル ]メニューから[ プロパティ ]を選択し、さらに[ 設定 ]タブをクリックしてください。次に[ エミュレーション ]フィールドを VT100 に設定してください。

## コンソールベース設定ユーティリティ

**本**章ではコンソールベース設定ユーティリティを使用した本製品の設定方法について説明します。本製品をはじめて使用する場合、コンソールベース設定ユーティリティで本製品のIPアドレス等の設定を行う必要があります。

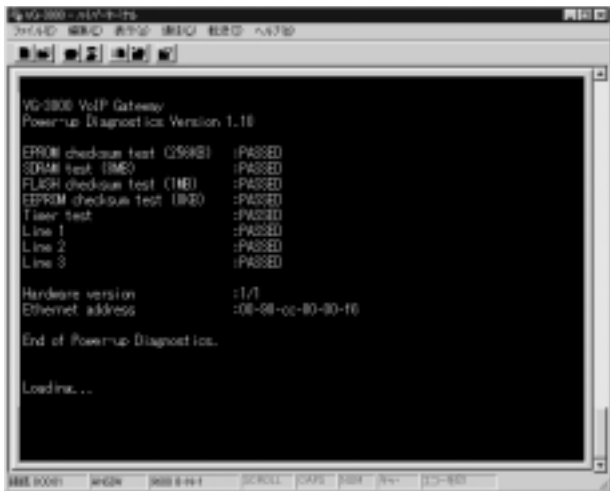
### 1. 概要

本製品は、コンソールベース設定ユーティリティで簡単に設定を行うことが可能です。また、本製品をご購入後初めて使用する場合はコンソールベース設定ユーティリティで本製品のIPアドレス等の設定を行う必要があります。コンソールベース設定ユーティリティにアクセスするには、付属のRS-232ケーブルを使って本製品のConsoleポートを端末と接続する必要があります。各通信パラメータは以下のように設定してください。

ボーレート:9600bps  
データビット:8  
パリティ:なし  
ストップビット:1  
フロー制御:なし

## 2. 電源を入れる

本製品は電源が入ると初期化ルーチン(自己診断テスト)を実行します。初期化ルーチンはシステム内のハードウェアおよびソフトウェアの各機能を診断するほか、各ネットワーク機器との接続状態も確認します。



初期化プロセスが完了すると、画面上に診断結果が「PASSED」(正常)または「FAILED」(異常)のどちらかで表示されます。次にプログラムは、前回最後に保存された設定データをロードしてログイン画面を表示します。なお、本製品を初めてご使用になる場合は工場出荷時のデフォルト設定がロードされます。

### 3. ログイン方法

電源投入時の初期化ルーチンが完了すると、Login画面が表示され、Username(ユーザ名)およびPassword(パスワード)の入力が可能となります。本製品を初めてご使用になる場合は、デフォルトのユーザ名「admin」とデフォルトパスワード「password」をご使用ください。



#### < Username >

ユーザ名「admin」を入力して[Enter]キーを押してください。コンソールベース設定ユーティリティではユーザ名は「admin」のみ使用できます。また、ユーザ名の変更はできません。

#### < Password >

パスワードを正しく入力して[Enter]キーを押してください。なお、パスワードは8~20文字までの半角英数字となっています。

**⚠ 注意**

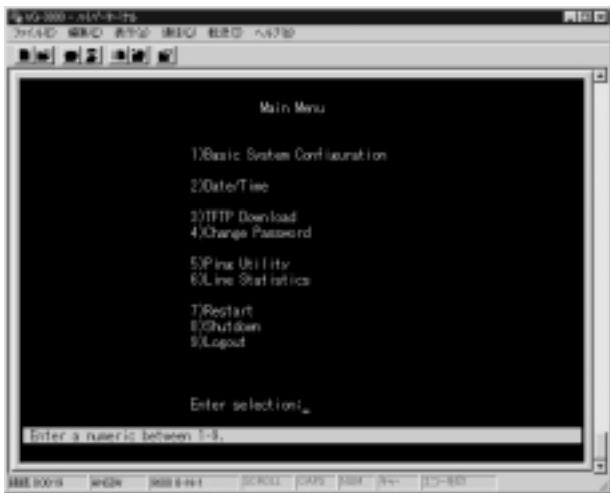
コンソールポートを使用するコンソールベース設定ユーティリティでは、ゲストユーザ( guest )はログインできないようになっています。Webベース設定ユーティリティでは、ゲストユーザによるシステム設定内容の参照が可能です。

**4. メインメニュー (Main Menu)**

ユーザ名とパスワードを正しく入力すると、メインメニュー画面が表示されます。

**⚠ 注意**

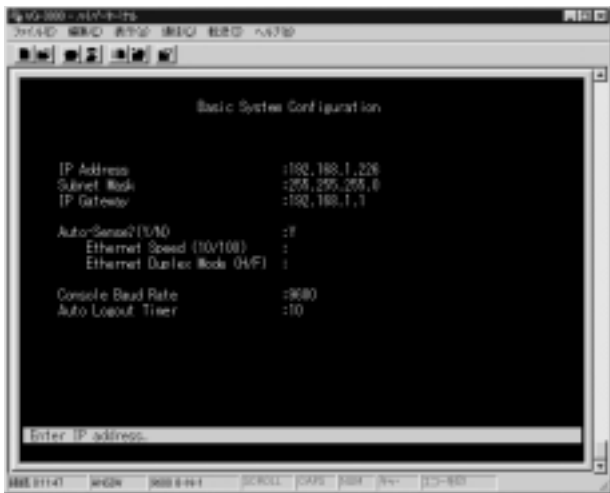
本製品を初めて起動した場合は、メインメニュー画面ではなく、後述の「Basic System Configuration」メニューが表示されます。



メインメニュー画面から設定項目を選ぶには、各項目の左側に表示されている数字を入力して[ Enter ]キーを押してください。

## 5. システム設定 (Basic System Configuration)

システム設定メニューでは、本製品のIPアドレスやネットワーク転送速度などの設定を行うことが可能です。Webベース設定ユーティリティを使用する前に、ここで本製品のIPアドレスの設定を行ってください。メインメニュー画面で[ 1 ]を入力し、[ Enter ]キーを押すとシステム設定メニューが表示されます。



[ Enter ]キーを押す度にカーソルが移動します。変更したい項目にカーソルを移動したら、[ BackSpace ]キーを使って現在の設定内容を消し、新しい値を入力してください。最後の項目で[ Enter ]キーを押すと設定の保存を確認するメッセージが表示されます。設定を保存する場合は[ S ]キーを押してから[ Enter ]キーを押してください。保存を行わずに設定を終了するばあいは[ R ]キーを押してから[ Enter ]キーを押してください。さらに設定を変更したい場合は[ M ]キーを押してから[ Enter ]キーを押してください。

**< IP Address >**

本製品に割当てるIPアドレスを入力してください。インターネットの専用線接続サービスをご使用の場合は、プロバイダから割り当てられた固定IPアドレスを入力してください。

**< Subnet Mask >**

本製品に割当てるサブネットマスクを入力してください。

**< IP Gateway >**

本製品を接続したネットワーク上のIPゲートウェイ機器(ルータなど)のIPアドレスを入力してください。

**< Auto-Sense? (Y/N) >**

Autonegotiation機能によりネットワークの転送速度および転送モードを自動認識させる場合は[ Y ]を入力してください。Autonegotiation機能を無効にする場合は[ N ]を入力してください。

**▲ 注意**

無効に設定する場合は、接続先のネットワーク機器に合わせて、次の2つのフィールドを設定してください。

**< Ethernet Speed( 10/100 ) >**

接続先のネットワーク機器に合わせて、[ 10 ]( 10BASE-T )または[ 100 ]( 100BASE-TX )を入力してください。

**< Ethernet Duplex Mode( H/F ) >**

接続先のネットワーク機器に合わせて、[ F ]( 全二重 )または[ H ]( 半二重 )を入力してください。

**< Console Baud Rate >**

コンソールポートの送信速度を設定します。[ 9600 ]( bps ) [ 19200 ]( bps ) [ 38400 ]( bps )が設定可能です。

**▲ 注意**

Console Baud Rate の設定を変更した場合は、ハイパーターミナルのボーレートも必ず変更してください。

**< Auto Logout Timer >**

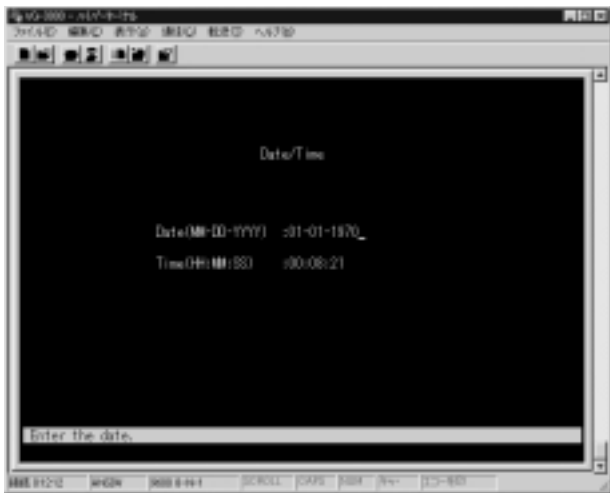
ここで設定した時間なにもキー入力を行わないと、本製品はユーザとの接続を自動的に終了(ログアウト)します。ログアウトタイマは[ 0 ] ~ [ 60 ]分の間で設定することが可能です。[ 0 ]分に設定すると、ログアウトタイマは無効となり自動的に接続をログアウトすることはありません。



## 6. 日付/時刻の設定 (Date/Time)

本製品の日付および時刻を設定します。

メインメニュー画面で[ 2 ]を入力し、[ Enter ]キーを押すと日付/時刻の設定メニューが表示されます。



### ⚠ 注意

本製品は電源を切ると日付/時刻の情報が消去されます。本製品の電源を入れなおした場合は日付および時刻を設定しなおしてください。

**< Date( MM-DD-YYYY ) >**

本製品に設定されている日付が表示されます。表示形式は 月 - 日 - 年 (西暦) となっています。変更する場合は[ BackSpace ]キーで現在の設定を消去してから、日付を入力してください。一桁の数字を入力する場合は必ず10の位に0を追加してください。

入力例

1999年 5月 5日 [ 05-05-1999 ]

**< Time( HH:MM:SS ) >**

本製品に設定されている時刻が表示されます。表示形式は 時間 : 分 : 秒 となっています。変更する場合は[ BackSpace ]キーで現在の設定を消去してから、時刻を入力してください。時間は24時間形式で入力します。一桁の数字を入力する場合は必ず10の位に0を追加してください。

入力例

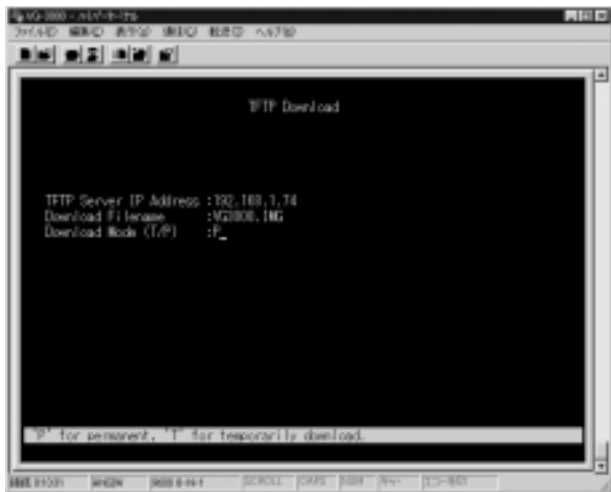
午後 3時 5分 0秒 [ 15:05:00 ]

時刻を入力して[ Enter ]キーを押すと確認のメッセージが表示されます。日付/時刻を設定する場合は[ S ]を、設定を中止してメインメニューに戻る場合は[ R ]を、設定を変更する場合は[ M ]キーを押してから[ Enter ]キーを押してください。

## 7. ファームウェアのアップデート (TFTP Download)

本製品では、TFTPサーバからファームウェアをダウンロードしてアップデートすることが可能となっています。アップデートを行う場合はあらかじめTFTPサーバを用意しTFTPサーバ上にファームウェアファイルをコピーしておいてください。

メインメニュー画面で[3]を入力し、[Enter]キーを押すとファームウェアのアップデートメニューが表示されます。



### < TFTP Server IP Address >

TFTPサーバのIPアドレスを入力してください。

### < Download Filename >

ダウンロードするファームウェアファイルのファイル名を入力してください。

### < Download Mode >

ダウンロードのモードを指定します。ダウンロードしたファームウェアを一時的(試験的)に使用する場合は[ T ]を入力してください。ファームウェアを継続して使用する場合は[ P ]を入力してください。

Temporarily( テンポラリ )モードは、ファームウェアを一時的に試験することができます。ファームウェアはフラッシュメモリに書き込まれないため、本製品の電源を切るか再起動すると前バージョンのファームウェアに戻すことができます。

Permanent( パーマネント )モードでは、ファームウェアをフラッシュメモリに書き込みます。電源断や再起動を行っても、前バージョンのファームウェアには戻りません。

ダウンロードモードを入力して[ Enter ]キーを押すと確認のメッセージが表示されます。ダウンロードを行う場合は[ E ]を、ダウンロードを中止してメインメニューに戻る場合は[ R ]を、ダウンロード設定を変更する場合は[ M ]キーを押してから[ Enter ]キーを押してください。ダウンロードが終了すると自動的にログイン画面に戻ります。

## 8. パスワードの変更 (Change Password)

管理者 ( admin ) およびゲスト ( guest ) ユーザ用のパスワードを変更します。メインメニュー画面で [ 4 ] を入力して [ Enter ] キー押すとパスワードの変更メニューが表示されます。



管理者 ( admin ) 用のパスワードを変更する場合は [ A ] を、ゲスト ( guest ) 用のパスワードを変更する場合は [ G ] を入力して [ Enter ] キーを押してください。



#### < Enter the old password >

現在設定されているパスワードを入力してください。ゲスト用のパスワード変更画面では表示されません。

#### < Enter the new password >

新しく設定するパスワードを入力してください。パスワードには 8 ~ 20 文字までの英数字を入力することができます。

#### < Confirm the new password >

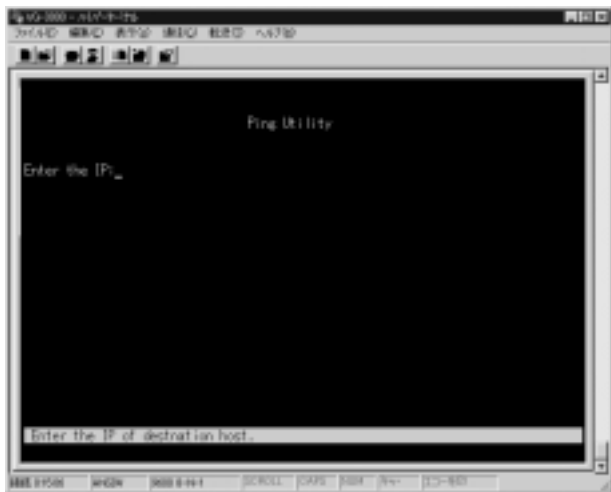
確認のため新しいパスワードをもう一度入力してください。

確認のパスワードを入力して [ Enter ] キーを押すと、パスワード変更の確認のメッセージが表示されます。新しいパスワードを保存する場合は [ Y ] を、設定を中止する場合は [ N ] を入力して [ Enter ] キーを押してください。

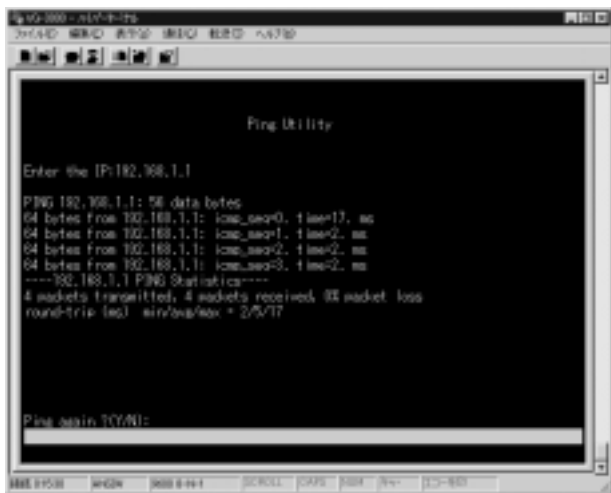
## 9. pingユーティリティ (Ping Utility)

pingユーティリティを使用するとネットワークへの接続やIP設定に問題がないか確認することができます。

メインメニュー画面で[ 5 ]を入力して[ Enter ]キー押すとpingユーティリティの実行画面が表示されます。



「Enter the IP」にネットワーク上の他の機器や通話先の本製品のIPアドレスを入力して[Enter]キーを押してください。



pingユーティリティではデータパケットを4回送信します。送信されたパケットが送信先に到達すると送信元である本製品に返信されます。テストが完了すると、その結果が画面に表示されます。テスト結果には、送信/受信されたパケット数、パケットロスの割合、データパケットの最小/平均/最大ラウンドトリップ移動数などがあります。

### ⚠ 注意

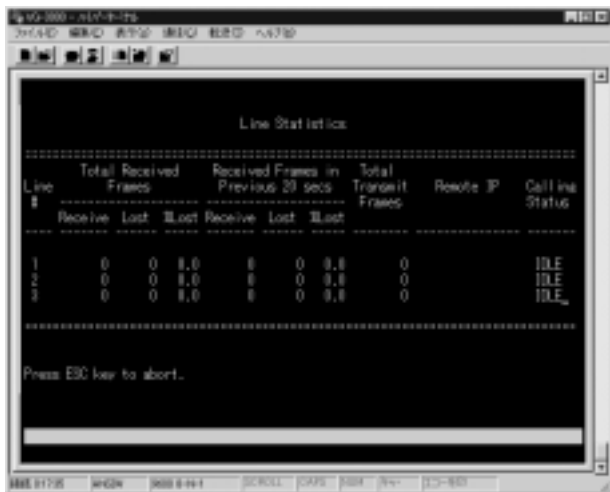
入力されたIPアドレスが間違っていたり、送信先の機器が動作していませんと、画面に no answer と表示されます。IPアドレスを正しく入力し直るか、送信先の機器が動作していることを確認し再度テストを行ってください。



## 10. 統計情報の表示 (Line Statistics)

本製品の電話回線の現在の通信ステータスおよび各トラフィック統計情報を表示します。

メインメニュー画面で[ 6 ]を入力して[ Enter ]キー押してください。



Line #	Total Received Frames			Received Frames in Previous 20 secs			Total Transmit Frames	Remote IP	Call Line Status
	Receive	Last	%Lost	Receive	Last	%Lost			
1	0	0	0.0	0	0	0.0	0		IDLE
2	0	0	0.0	0	0	0.0	0		IDLE
3	0	0	0.0	0	0	0.0	0		IDLE

Press ESC key to abort.

### < Line # >

回線の番号です。

### < Total Received Frames >

現在接続中の通話が開始されてからの受信フレーム数(Receive)、損失フレーム数(Lost)、フレーム損失率(%Lost)を表示します。

### < Received Frames in Previous 20 secs >

過去20秒間の受信フレーム数(Receive)、損失フレーム数(Lost)、フレーム損失率(%Lost)を表示します。

### < Total Transmit Frames >

現在接続中の通話が開始されてから送信されたフレームの総数を表示します。

### < Remote IP >

現在接続中の通話先の機器のIPアドレスを表示します。

### < Calling Status >

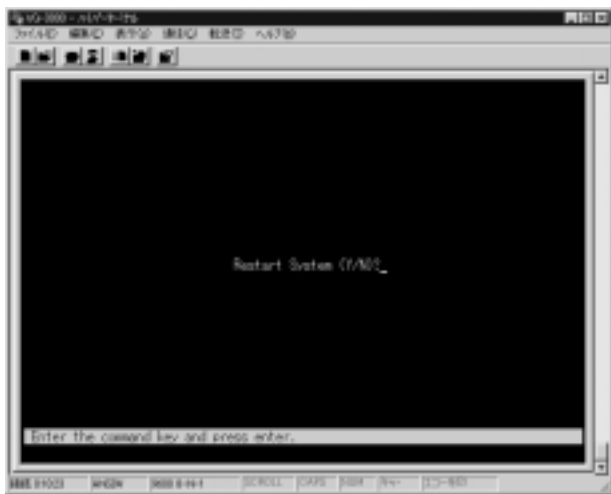
回線未使用時は「IDLE」、着信通話中は「IN」、発呼通話中は「OUT」を表示します。

[ Esc ]キーを押すとメインメニューに戻ります。

## 11. 再起動 (Restart)

再起動メニューでは本製品の再起動を行うことができます。再起動を行うと設定内容を保存後、本製品の初期化が行われます。

再起動を行うには、メインメニュー画面で[ 7 ]を入力して[ Enter ]キーを押してください。



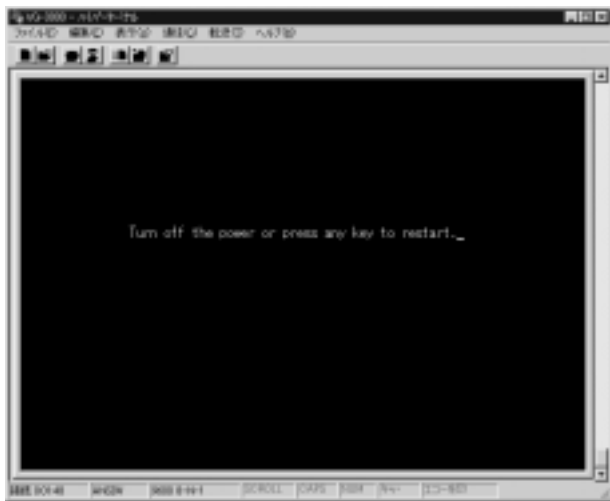
確認のメッセージが表示されるので、再起動を行う場合は[ Y ]を、再起動を行わない場合は[ N ]を押して[ Enter ]キーを押してください。

## 12. シャットダウン (Shutdown)

シャットダウンメニューでは、本製品のシャットダウンを行うことができます。シャットダウンを行うと設定内容を保存後、シャットダウンを行います。コンソールベース設定ユーティリティで設定変更後に本製品の電源を切る場合は、設定を保存するためにシャットダウンを実行してください。

シャットダウンを行うには、メインメニュー画面で[ 8 ]を入力して[ Enter ]キーを押してください。

次のような画面が表示されたら、本製品の電源を切るか、何かキーを押して再起動を行ってください。



### 13. ログアウト (Logout)

コンソールベース設定ユーティリティを終了する場合はログアウトを行ってください。

ログアウトを行うには、メインメニュー画面で[ 9 ]を入力して[ Enter ]キーを押してください。ログアウトが行われ、ログイン画面に戻ります。

## Webベース設定ユーティリティ

**本**章では本製品に搭載されているWebベース設定ユーティリティ「Smart Voice Manager」を使用した本製品の設定方法について説明します。

### 注意

Webベース設定ユーティリティを使用する前に、コンソールベース設定ユーティリティを使用して、必ず本製品にIPアドレスを設定しておいてください。

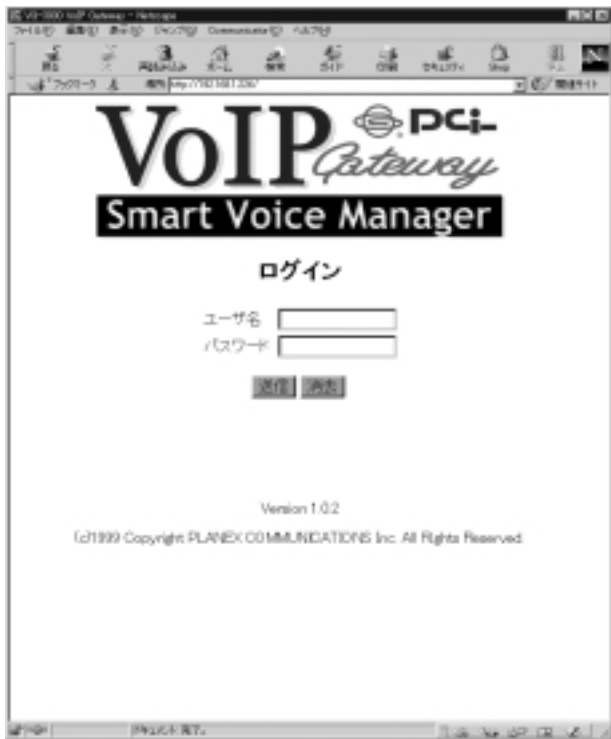
### 1. Webベース設定ユーティリティにログインする

Webベース設定ユーティリティでは、ネットワーク経由で遠隔地から簡単に本製品にアクセスすることが可能です。設定には、Internet ExplorerやNetscape Communicatorといった一般的なWebブラウザが使用可能です。

以下の手順でWebベース設定ユーティリティにアクセスしてください。

1. ご使用のコンピュータ上でWebブラウザ( Internet Explorerや Netscape Communicatorなど )を起動してください。
2. WebブラウザのURL入力欄に、本製品に設定したIPアドレスを入力して[ Enter ]キーを押してください。

3. Webベース設定ユーティリティのログイン画面が表示されます。ログイン画面ではユーザ名とパスワードを入力するよう要求されます。



### <ユーザ名>

管理者でログインする場合は「admin」を、ゲストでログインする場合は「guest」を入力してください。

### <パスワード>

パスワードを正しく入力して[ Enter ]キーを押してください。デフォルトの状態からパスワードを変更していない場合は、デフォルトのパスワード「password」を入力してください。

4. ユーザ名とパスワードを入力したら[ 送信 ]ボタンをクリックしてください。Webベース設定ユーティリティのメインメニューが表示されます。

### 注意

ユーザ名およびパスワードを正しく入力した場合でも、「ログインエラー」と表示される場合があります。これは、既に誰かが管理者として本製品にアクセスしている場合に発生します。管理者用メニューは常時、一人のみログインが可能となっています。このため既に別の管理者がログインしている場合は、ログインすることはできません。

## 2. メインメニュー

メインメニューに表示される項目はログイン時に使用したユーザ名により異なります。

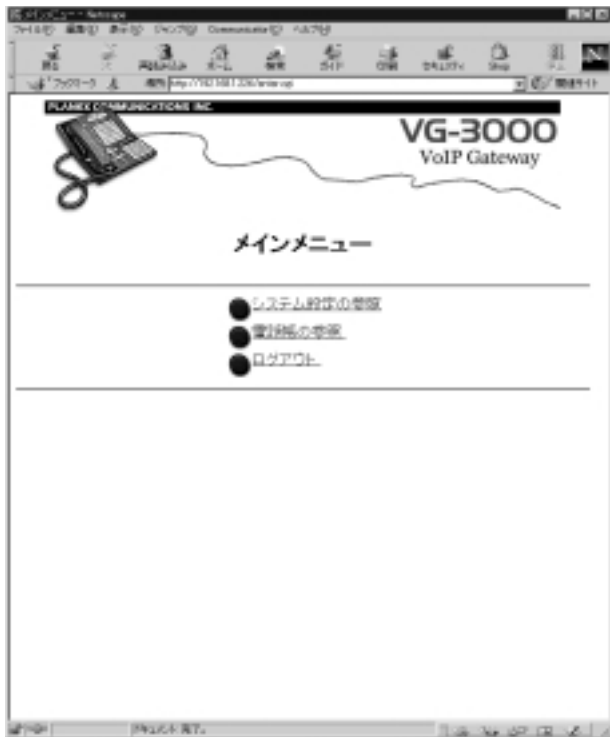
### ■ 管理者 (admin) 用メインメニュー



管理者でログインした場合は本製品のすべての設定を行うことが可能です。



## ■ゲスト (guest) 用メインメニュー



ゲストでログインした場合は「システム設定の参照」と「電話帳の参照」のみが可能です。

### 3. システム設定

本製品の各設定内容を変更します。「システム設定」メニューでは、本製品のIPアドレス設定、長距離電話番号およびイーサネットポートの各設定などが変更可能です。



会社名	PCI
システム名	VG-3000
稼働時間	3月14日 13:56:59
ハードウェアバージョン	1.1
ROMバージョン	1.10
ファームウェアバージョン	1.02
MACアドレス	00-90-cc-00-00-40
転送速度/モード	Auto-Sense
IPアドレス	192.168.1.228
サブネットマスク	255.255.255.0
IPゲートウェイ	192.168.1.1
登録速度	1600 kbps
エンロール自動ログアウトタイマー	10

#### < 会社名 >

会社名を1～32文字の英数字で入力してください。

### <システム名>

本製品を区別するための名前を1～32文字の英数字で入力してください。

### <稼働時間>

本製品の電源を入れてからの稼働時間を表示します。なお、本体の電源を切るたびにこのカウンタはリセットされます。

### <ハードウェアバージョン>

本製品のハードウェアバージョンを表示します。

### <ROMバージョン>

本製品のROMバージョンを表示します。

### <ファームウェアバージョン>

本製品のファームウェアバージョンを表示します。

### <MACアドレス>

本製品のイーサネットMACアドレスを表示します。

### <転送速度/モード>

イーサネットポートの転送速度および転送モードを設定します。

- ・ Auto-Sense  
転送速度および転送モードをAutonegotiation機能により自動認識します。
- ・ 10Mbps、Half Duplex  
転送速度が10Mbps( 10BASE-T )、半二重に固定となります。
- ・ 10Mbps、Full Duplex  
転送速度が10Mbps( 10BASE-T )、全二重に固定となります。
- ・ 100Mbps、Half Duplex  
転送速度が100Mbps( 100BASE-TX )、半二重に固定となります。
- ・ 100Mbps、Full Duplex  
転送速度が100Mbps( 100BASE-TX )、全二重に固定となります。

### <IPアドレス>

本製品に割当ててるIPアドレスを入力してください。

### <サブネットマスク>

本製品に割当てするサブネットマスクを入力してください。

### <IPゲートウェイ>

本製品を接続したネットワーク上のIPゲートウェイ機器(ルータなど)のIPアドレスを入力してください。

### <回線速度>

RS-232コンソールポートの送信速度をbps(ビット/秒)単位で決定します。「9600」、「19200」、「38400」に設定することが可能です。

## ▲ 注意

回線速度変更後は、VT100互換ターミナルの転送速度も同じ速度に変更してください。この作業を行わないとシステム再起動後にテキストベース設定プログラムにアクセスできなくなります。なお、Webベース設定ユーティリティには何も影響しません。

### <コンソール自動ログアウトタイマー>

ここで設定した時間、何もキー入力が起こらないと本製品はユーザとの接続を自動的に終了(ログアウト)します。なお、このログアウト設定はコンソール用のものです。Webベース設定ユーティリティのログアウトタイマーは常時10分で固定されています。ログアウトタイマーは0~60分の間で設定可能となっており、デフォルトでは10分に設定されています。0に設定するとログアウトタイマーは無効となり、本製品は接続の自動ログアウトを行いません。

### <国際電話コード>

本製品を設置した場所から国外にダイヤルするときに使用している、国際電話用の番号を入力してください。

### <長距離電話コード>

国内で長距離電話を行う際に使用している番号を入力してください。

### <電話帳ソートキー>

電話帳に登録されている情報を表示する順番を決定します。「会社名」または「電話番号」から選択してください。

### < 回線 1/2/3 ステータス >

本製品の1～3の回線の有効/無効、内線番号の設定を行います。

- ・有効  
回線が有効になります。
- ・無効  
回線が無効になります。PBXまたはアナログ電話機器に接続しない回線は必ず無効に設定してください。
- ・内線番号指定  
各回線に内線番号を設定する場合に選択し、1～999の内線番号を入力してください。外部から本製品に対して電話をかける際、電話番号の最後に[\*]および内線番号を追加するとその内線番号に直接かけることができます。未登録の内線番号が指定された場合は、どの回線へも接続されません。

### < クラス設定 >

本製品をネットワーク上に複数設置する場合は、いずれか1台を「マスター」に設定しネットワーク上の残りのVG-3000をすべて「スレーブ」に設定してください。マスターは着信トラフィックを管理し、外部からかかってくる電話をシステム内で使用可能ないずれかの回線に転送します。「スレーブ」に設定した場合は、マスターのIPアドレスを入力してください。

「更新」ボタンをクリックすると変更内容が有効となります。

「ホーム」をクリックすると、設定を変更せずにメインメニューに戻ることができます。

## 4. 日付/時刻の設定

本製品の日付/時刻の設定を行います。

### ⚠ 注意

本製品は電源を切ると日付/時刻の情報が消去されます。本製品の電源を入れなおした場合は日付および時刻を設定しなおしてください。



**< 日付(MM/DD/YYYY) >**

現在設定されている時間を表示します。新たに設定する場合はプルダウンリストから設定する日付を選択してください。表示形式は月/日/年(西暦)となっています。

**< 時間(HH:MM:SS) >**

現在設定されている時間が表示されます。新たに設定する場合はプルダウンリストから設定する時間を選択してください。

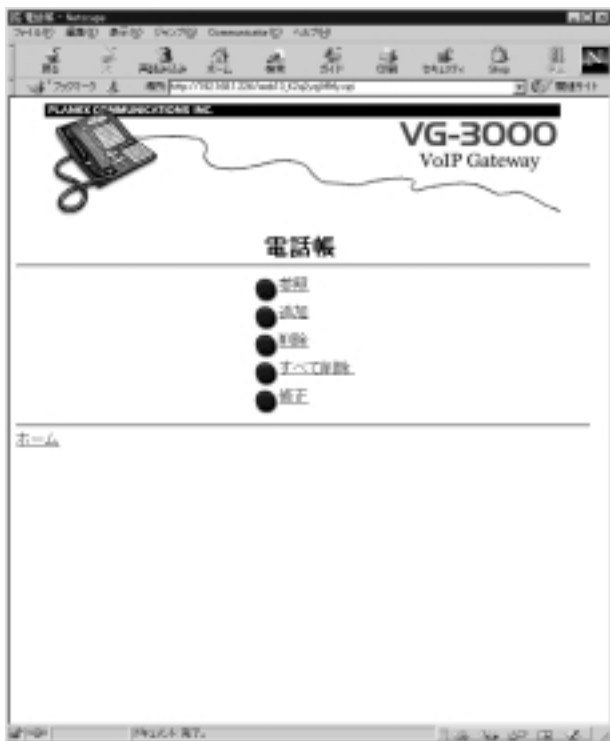
表示形式は24時間式で 時間:分:秒 の形式で表示されます。

「決定」ボタンをクリックすると新しい設定が有効になります。

「ホーム」をクリックすると、設定を変更せずにメインメニューに戻ることができます。

## 5. 電話帳

電話帳メニューでは本製品に登録されている電話番号の一覧、追加、修正、削除が可能です。





## ■ 参照

本製品に登録されている電話番号の一覧が表示されます。



The screenshot shows a web browser window with the address bar displaying `http://192.168.1.200/soft/7/3/kywml0300/vwlog/`. The page header includes the logo for PLAMAX COMMUNICATIONS INC. and the product name VG-3000 VoIP Gateway. Below the header is the title "電話帳の参照" (Phone Book Reference). A table lists six entries with columns for No., 会社/顧客名 (Company/Customer Name), 国番号 (Country Code), 市外局番 (Area Code), 電話番号 (Phone Number), IPアドレス (IP Address), and 拡張番号 (Extension Number). At the bottom of the page, there is a link labeled "ホーム 前ページ" (Home Previous Page).

No.	会社/顧客名	国番号	市外局番	電話番号	IPアドレス	拡張番号
1	AAA	81	03	11111111	192.168.1.1	1101
2	BBB	81	03	22222222	192.168.1.2	
3	CCC	81	03	33333333	192.168.1.3	1103
4	DDD	81	03	44444444	192.168.1.4	
5	EEE	81	03	55555555	192.168.1.5	1105
6	FFF	81	03	66666666	192.168.1.6	

## ■追加

本製品の電話帳に電話番号を追加します。電話帳は最大1,000件まで登録可能です。



### <会社/顧客名>

相手先の会社名または顧客名を1～32文字までの英数字で入力してください。

### < 国番号 >

相手先の国番号を入力してください。

### < 市外局番 >

相手先の市外局番を入力してください。

### < 電話番号 >

相手先の電話番号を入力してください。電話番号には10桁までの数字のみ使用可能です。空白( ) 小数点(.) ハイフン(-) 斜線(/) 等の特殊記号は使用できません。

### ▲ 注意

電話番号フィールドには内線番号は入力しないでください。電話機を使用する場合と同様に、相手先の内線番号はいったん電話がつながってから入力する必要があります。

### < IPアドレス >

相手先に設置されている本製品のIPアドレスを入力してください。

### < 短縮番号 >

登録する電話番号に短縮番号を設定する場合に入力してください。短縮番号は、1000～9999の範囲で、設定可能です。短縮番号を設定しない場合は空白にしておいてください。設定した短縮番号で電話をかける場合は、4桁の短縮番号を直接入力してください。

「追加」ボタンをクリックすると入力した相手先が、電話帳に登録されます。

「ホーム」をクリックすると、電話帳に登録せずにメインメニューに戻ることができます。

## ■削除

電話帳に登録されているレコードを選択して1つまたは複数削除することができます。



削除したいレコードのレコード番号の左側のボックスをチェックしてください。「選択されたレコードを削除」ボタンをクリックすると選択したレコードが削除されます。「すべてのレコードを削除」ボタンをクリックすると、選択されている/いないに関わらず、すべてのレコードが削除されます。削除を中止する場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

## ■すべて削除

電話帳に登録されている、すべてのレコードを削除することができます。



「削除」ボタンをクリックするとすべてのレコードが削除されます。削除を中止する場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

### ⚠ 注意

いったん削除したレコードを復元することはできません。削除を実行する前に、すべてのレコードを削除してよいか、もう一度ご確認ください。



## 6. ファームウェアダウンロード

本製品のファームウェアのアップデートを行います。ファームウェアファイルのダウンロードはTFTPサーバから行います。あらかじめネットワーク上にTFTPサーバを用意しファームウェアファイルをTFTPサーバ上にコピーしておいてください。



**<TFTPサーバIPアドレス>**

ファームウェアファイルをコピーした、ネットワーク上のTFTPサーバのIPアドレスを入力してください。

**<ダウンロードするファイル名>**

TFTPサーバからダウンロードするファームウェアファイルのファイル名を入力してください。

**<ダウンロードモード>**

「更新」または「一時使用」から選択してください。

「一時使用」モードでは、ファームウェアを一時的に試験することができます。ファームウェアはフラッシュメモリに書き込まれないため、本製品の電源を切るか再起動すると前バージョンのファームウェアに戻すことができます。

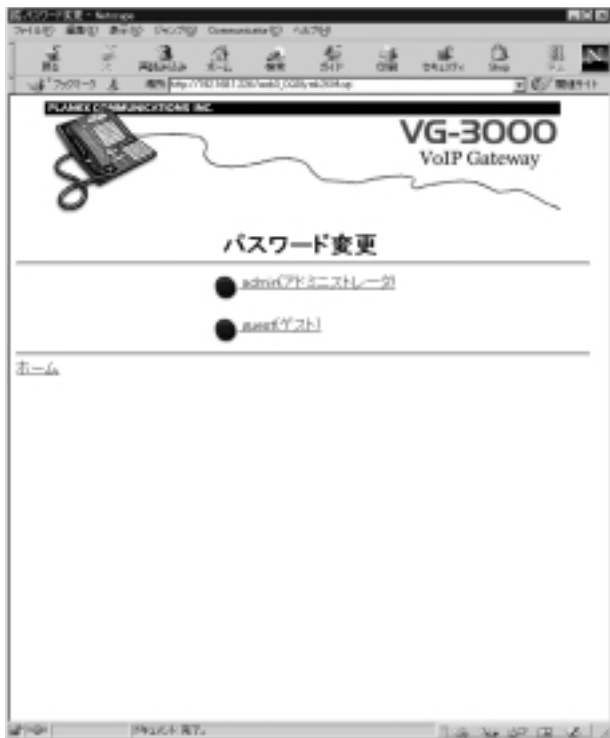
「更新」モードでは、ファームウェアをフラッシュメモリに書き込みます。電源断や再起動を行っても、前バージョンのファームウェアには戻りません。

「ダウンロード」ボタンをクリックするとファームウェアファイルのダウンロードが実行されます。ダウンロードが終了すると本製品は自動的に再起動します。再起動が終了するまで30秒程度待つてから、再度ログインしてください。



## 7. パスワード変更

本製品の設定ユーティリティにログインするための、管理者 (admin) およびゲスト (guest) ユーザのパスワードを変更することが可能です。



管理者 (admin) 用のパスワードを変更する場合は「admin (アドミニストレータ)」を、ゲスト (guest) 用のパスワードを変更する場合は「guest (ゲスト)」を選択してください。



The screenshot shows a web browser window displaying the administration page for a VG-3000 VoIP Gateway. The page header includes the logo for PLATEX COMMUNICATIONS INC. and the product name VG-3000 VoIP Gateway. The main heading is "admin パスワード". Below this, there are three input fields for password management: "現在のパスワードを入力" (Enter current password), "新しいパスワードを入力" (Enter new password), and "新しいパスワードの再入力" (Re-enter new password). There are "戻る" (Back) and "保存" (Save) buttons below the form. At the bottom left, there is a "ホーム 前ページ" (Home Previous Page) link. The browser's address bar shows the URL "http://192.168.1.200/web1/000Key/0001.asp".

**<現在のパスワードを入力>**

現在設定されているパスワードを入力してください。ゲスト用のパスワード変更画面では表示されません。

**<新しいパスワードの入力>**

新しく設定するパスワードを入力してください。パスワードには8~20文字までの英数字を入力することができます。

**<新しいパスワードの確認入力>**

確認のため新しいパスワードをもう一度入力してください。

「変更」ボタンをクリックすると新しいパスワードに変更されます。

「消去」ボタンをクリックすると入力したパスワードが消去されるので、パスワードを入力しなおしてください。パスワードの変更を中止したい場合は「ホーム」をクリックしてください。

## 8. 統計情報

本製品の電話回線の現在の通信ステータスおよび各トラフィック統計情報を表示します。

PLAMEX COMMUNICATIONS INC.

VG-3000  
VoIP Gateway

### 統計情報

回線 #	総発信フレーム数			総受信フレーム数			総転送 フレーム数	リセート P	回線状況
	受信	パケット トロス	パケッ トロス (%)	受信	パケット トロス	パケッ トロス (%)			
1	0	0	0.0	0	0	0.0	0	N/A	EXLE
2	0	0	0.0	0	0	0.0	0	N/A	EXLE
3	0	0	0.0	0	0	0.0	0	N/A	EXLE

ホーム

#### < 回線 # >

回線の番号です。

#### < 送受信フレーム数 >

現在接続中の通話が開始されてからの受信フレーム数(受信)、損失フレーム数(パケットロス)、フレーム損失率(パケットロス%)を表示します。

#### < 送受信フレーム数(過去20秒) >

過去20秒間の受信フレーム数(受信)、損失フレーム数(パケットロス)、フレーム損失率(パケットロス%)を表示します。

#### < 総転送フレーム数 >

現在接続中の通話が開始されてから送信されたフレームの総数を表示します。

#### < リモートIP >

現在接続中の通話先の機器のIPアドレスを表示します。

#### < 回線状況 >

回線未使用時は「IDLE」、着信通話中は「IN」、発呼通話中は「OUT」を表示します。

「ホーム」をクリックするとメインメニューに戻ります。

## 9. クラス設定

本製品は、ネットワーク上に複数設置して同時に使用することが可能です。また、VG-3000とVF-3000(VoIPフォワーディングゲートウェイ)を混在して使用することも可能です。この場合、必ず1台をマスターに設定し、残りはスレーブに設定する必要があります。クラス設定画面では各VG-3000/VF-3000のマスター/スレーブ設定および使用可能な回線数を表示します。

### ⚠ 注意

「クラス設定」情報はマスターでのみ参照可能です。

IPアドレス	マスター/スレーブ	回線状況	
		PSTN	PEO(Out)
192.168.1.221	Slave	0	3
192.168.1.228	Master	0	3

### < IPアドレス >

ネットワーク上の各VG-3000/VF-3000のIPアドレスを表示します。

### < マスター/スレーブ >

マスターに設定されたVG-3000/VF-3000は「Master」、スレーブに設定されたVG-3000/VF-3000は「Slave」と表示されます。

### < 回線状況 >

使用可能な回線数を表示します。VG-3000の場合は「PBX(Outer)」に有効に設定されている回線数が表示されます。

VF-3000の場合は「PSTN」に有効に設定されている回線数が表示されます。







## 12. ログアウト

Webベース設定ユーティリティを終了する場合はログアウトを行ってください。



「ログアウト」ボタンをクリックするとログアウトが行われ、ログイン画面に戻ります。ログアウトを中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

## 製品仕様

### ■ネットワークインターフェース

#### <コネクタ>

10BASE-T/100BASE-TX イーサネット RJ-45 コネクタ x 1

#### <ケーブル>

EIA/TIA-568 カテゴリ 5 UTP ケーブル

### ■対応標準

ANSI/IEEE 802.3、IEEE802.3u

### ■電話回線インターフェース

#### <コネクタ>

RJ-11 コネクタ x 3 (PBXや標準電話機と接続)

#### <呼出信号周波数>

17、20、25、50Hz (ディップスイッチで変更可能)

#### <対応規格/機能>

エコー消去、無音制御、ITU H.323、G.723.1

### ■入力電源

100/220V AC、50-60Hz

### ■消費電力

最大65W

### ■重量

3.6kg

### ■外形寸法

440mm (W) x 250mm (D) x 43.5mm (H)

### ■動作環境

#### <温度>

0 ~ 40

#### <湿度>

35 ~ 85%

#### <EMI>

FCC Class A、VCCI Class A、CISPR Class A



技術的なご質問、バージョンアップ等のお問い合わせは  
お気軽に下記へご連絡ください。

なお「ユーザー登録はがき」をご返送またはホームページにて  
ユーザー登録をおこなっていただいていない場合には、  
一切サポートは受けられませんのでご注意ください。

フリーダイヤル：0120-415977

FAX：03-3256-9207

受付時間

月曜日～金曜日(祭日は除く)

10:00～12:00・13:00～17:00

ご質問の受付やドライバのアップデートを  
下記wwwサーバで行なっておりますのでご利用ください。

<http://www.planex.co.jp/>

E-MAIL: [info-planex@planex.co.jp](mailto:info-planex@planex.co.jp)

**プラネックスコミュニケーションズ株式会社**

# 質問票

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズテクニカルサポート担当行

**FAX : 03-3256-9207**

送信日 : \_\_\_\_\_

会社名			
部署名			
名前			
電 話		F A X	
E-MAIL			

製品名	<b>VoIP GATEWAY</b>
型番 Product No.	<b>VG-3000</b>
製造番号 Serial No.	

PBXまたは電話器

メーカー	
型番	

質問内容

---

---

---

---

---

---

---

---



## 保証規定

この製品は、厳密な検査に合格したものです。保証期間内に、お客様の正常なご使用状態の元で万一故障した場合には、本保証規定に従い無償で修理をさせていただきます。

ご購入後1ヵ月以内に発生した故障については初期不良交換対象となります。1ヵ月を過ぎた場合は修理扱いとさせていただきますのでご了承ください。なお、弊社はセンドバック方式をとらせていただいております。

故障の場合には、製品をお客様送料ご負担にて郵送していただき、弊社まで修理をご依頼ください。

ただし、次のような場合には保証期間内においても、有償修理となります。

1. ユーザー登録を行っていない場合
2. 購入日が明記されていない場合
3. 取扱上の誤りによる故障及び損傷、不当な修理や改造などをされた場合
4. お買い上げ後の移動、落下または郵送などにより故障、損傷が生じた場合
5. 火災、天災、地震、ガス害、または異常電圧により故障、損傷が生じた場合

保証書は、日本国内においてのみ有効です。

保証期間は、製品お買い上げ日より算定いたします。

保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

**プラネックスコミュニケーションズ株式会社**



# 保証書

弊社の保証規定を必ずご覧ください。

保証期間 Warranty	西暦 年 月 日より 3 年間
製品名	VoIP GATEWAY
型番 Product No.	VG-3000
製造番号 Serial No.	

個人使用      法人使用 (チェックしてください。)	
個人でご使用の場合には、個人名、および住所以降の欄にのみ記入ください。	
フリガナ	
会社名 (個人名)	
部課名	
フリガナ	
担当者名	
フリガナ	
住所	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 都府 道県
電話	— — 内線
F A X	— —
E-MAIL	

購入店名 所在地	
-------------	--

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

## ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ホームページ上でユーザー登録を行って戴いたお客様には抽選でプレゼントを差し上げております。ぜひホームページ上のユーザー登録をご利用くださいますようお願いいたします。

<http://www.planex.co.jp/>

インターネットをご使用になれないお客様は、本マニュアル最終ページのユーザー登録はがきをご使用ください。切り取って必要事項をご記入の上、弊社宛にご返送ください。インターネット上でユーザー登録をされたお客様は、ユーザー登録はがきをご返送いただく必要はありません。

## ユーザー登録書の記入方法

ユーザー登録書をご記入いただく場合には、以下の事項を参考にしてください。

“製造番号”には、パッケージ側面に貼られているバーコードシールの“S/N”または商品裏側に記されている内容をご記入ください。

ユーザー登録書の表面の使用環境を忘れずに必ずご記入ください。サポート時の参考情報とさせていただきます。

郵便はがき

お手数ですが  
切手を貼り  
ポストに  
ご投函下さい。

101-0041

東京都千代田区神田須田町 1-7  
ウイン神田高橋ビル5F

**プラネックスコミュニケーションズ株式会社**

『テクニカル・サポート担当』 行

ご使用になっている環境をお知らせください。

使用 ネットワークOS	
使用OS	
使用機種	

# ユーザー登録書

(プラネックスコミュニケーションズ 控)

購入日	西暦            年            月            日
製品名	VoIP GATEWAY
型番 Product No.	VG-3000
製造番号 Serial No.	

個人使用      法人使用 (チェックしてください。)	
個人でご使用の場合には、個人名、および住所以降の欄にのみご記入ください。	
フリガナ	
会社名 (個人名)	
部課名	
フリガナ	
担当者名	
フリガナ	
住 所	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 都 府 道 県
電 話	—                            —                            内線
F A X	—                            —
E-MAIL	

購入店名 所在地	
-------------	--

プラネックスコミュニケーションズ株式会社